

カキ生育情報

千葉県
平成27年10月号

平成27年9月の気象

平成27年9月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は、第1半旬は平年より高く、第2半旬以降は平年より低かった。月平均気温は22.0℃で、平年より0.9℃低く、前年より0.3℃高かった。

降水量は、第1、第2及び第4半旬は平年より多く、第3、第5及び第6半旬は平年より少なかった。10日に本州に上陸した台風18号の影響で線状降水帯が発生し長雨となったこともあり、9月上旬としては、昭和43年に観測を始めて以来最も多くなった。月合計は449mmで、平年の204%、前年の368%であった。月合計値は、昭和43年に観測を始めて以来3番目に多い記録であった。

日照時間は、第1、第2及び第4半旬は平年より短く、第3、第5及び第6半旬は平年を上回った。月合計は129時間で平年の88%、前年の72%であった。

表1 平成27年9月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	24.9	24.8	23.2	29	25	34	25	31	34
2	23.2	24.3	22.4	278	39	23	4	28	20
3	22.7	23.7	21.4	0	25	43	39	25	36
4	20.7	22.8	20.7	102	43	2	16	22	16
5	20.4	21.4	21.1	34	48	20	24	20	34
6	20.3	20.4	21.2	8	47	0	21	20	41
平均/計	22.0	22.9	21.7	449	220	122	129	146	180

果実の発育

9月30日現在のカキの果径は表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区平均値で見るとそれぞれ8.09cm、7.66cm、「富有」が7.17cmであった。本年の横径は、平年に比べ「西村早生」が6%、「松本早生富有」が7%、「富有」が2%それぞれ大きく、前年に比べ「西村早生」が9%、「松本早生富有」が5%それぞれ大きく、「富有」は1%小さかった。

縦径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区平均値で見るとそれぞれ5.66cm、5.53cm、「富有」が5.26cmであった。本年の縦径は、「西村早生」と「松本早生富有」がそれぞれ平年より3%、10%大きく、「富有」が平年より2%小さかった。また、前年に比べ「西村早生」と「松本早生富有」はそれぞれ3%、6%大きく、「富有」は同程度だった。

果形指数は、「西村早生」と「松本早生富有」が2地区平均値で見るとそれぞれ1.43、1.39、「富有」が1.40であった。本年の果形指数は、「西村早生」及び「富有」では平年より大きく、やや横長の傾向であり、「松本早生富有」では平年より小さく、やや縦長の傾向であった。

暖地園芸研究所では、「西村早生」が平年より7日遅い9月24日に収穫が始まった。「松本早生富有」及び「富有」は9月下旬から着色が始まっている。虫害では、果樹カメムシ類の発生がみられるが、被害果は前年より少ない。病害では炭疽病の発生がみられる。

表2 果実の発育（9月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	7.88	7.60	7.74	5.56	5.50	5.89	1.42	1.38	1.31
	暖地園研	8.29	7.68	7.08	5.76	5.46	5.11	1.44	1.41	1.39
	平 均	8.09	7.64	7.41	5.66	5.48	5.50	1.43	1.40	1.35
松本早生富有	市原市	7.48	7.04	6.93	5.47	4.85	5.18	1.37	1.45	1.34
	暖地園研	7.84	7.30	7.62	5.58	5.25	5.28	1.41	1.39	1.44
	平 均	7.66	7.17	7.28	5.53	5.05	5.23	1.39	1.42	1.39
富 有	暖地園研	7.17	7.05	7.23	5.26	5.35	5.28	1.40	1.32	1.40

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2014年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2014年の平均

10月の作業

収 穫

中生、晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認するとよい。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調製作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育と収量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「松本早生富有」、「次郎」、「富有」などの中晩生品種では、10月中下旬までに速効性肥料で施用する。窒素の成分量で、10a当たり2～3kgが適当である。

病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>